

No.	補助・単独	事業の区分	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	A (単位：円)				成果目標 (No.10以降設定)	成果実績	実施内容	事業成果
								総事業費 (R3実績額)	B 国庫補助額	C 交付金充当額	D その他				
1	単	通常事業	多機能端末機導入事業	市民課	①コロナ禍における窓口の混雑回避の観点から、市役所の2庁舎内へマイナンバーカードを利用した各種証明書の自動交付を行うため、多機能端末機を導入するもの。導入により混雑時における窓口の密防止を図る。 ②証明書の自動交付を可能とする機器の導入(2式) ③—	R3.5	R3.7	8,140,000		8,140,000	0		新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策としてマイナンバーカード多機能端末機を笠懸・大間々各庁舎へ設置した。  交付可能証明書： 住民票の写し 印鑑登録証明書 戸籍謄(抄)本 税証明書等	多機能端末の設置により窓口の混雑緩和を図り、併せてコピーサービスの提供も実施し、新たな生活様式への対応と市民サービスの向上が図れた。  多機能端末機導入費2台 8,140,000円 工事費及び維持管理費 767,981円	
2	単	通常事業	健康相談オンライン化事業	健康管理課	①コロナ禍での相談体制を充実させることを目的に、オンライン環境を整え、自宅でもできるリモートでの個別相談体制を構築するもの。 ②リモートでの健康相談を実施するための備品購入費 ③—	R3.5	R3.10	211,704		210,000	0		コロナ禍での相談体制を充実させることを目的に、オンライン環境を整え、自宅でもできるリモートでの個別相談体制を構築する。  リモートでの健康相談実施に伴うiPad等の機器の購入	リモートでのオンライン相談の環境を整え、市民に周知を行うことができた。  iPad 3個 101,205円 iPadキーボード 3個 47,088円 マイク付きヘッドセット3個 12,894円 Wi-Fi中継器 3個 25,896円 USBカードリーダー 2個 4,090円 ヘッドセット 1個 1,288円 消費税 19,243円 合計 211,704円	
3	単	通常事業	公共施設必需備品購入事業	健康管理課	①新型コロナウイルス感染症対策として、各公共施設の利用者が、安心・安全に施設を利用できるよう「非接触型自動検温器」を設置するもの。 ②備品購入費 ③—	R3.5	R3.7	5,250,080		5,250,000	0		新型コロナウイルス感染症対策として、各公共施設の利用者が、安心・安全に施設を利用できるよう「非接触型自動検温器」を設置する。	感染症対策として、市民が安心・安全に生活できるよう備品を購入し、活用することができた。  新型コロナウイルス感染症対策事業に係る備品 ・サーマルタブレット 19台 ・サーモグラフィカメラ 8台 5,250,080円	
4	単	通常事業	消費拡大支援事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない中、長きにわたる時短要請や外出自粛要請等により、市内経済にも影響が出ており、そうした状況を立て直すため、緊急的な経済対策として市内取扱店で使用可能な応援券を配布することで、市内経済の消費喚起を支援する。 ②市民1人あたり5,000円の応援券配布及び事務費 ③市民 49,645人(基準日:令和3年4月1日)	R3.4	R4.3	262,027,260		260,570,000	0		新型コロナウイルス感染症の影響により、冷え込んだ市内経済の消費を喚起し、厳しい経営環境に置かれている市内事業者を支援するため、全市民を対象に「みどモス応援券」を配布した。  ・基準日:令和3年4月1日 ・対象者:50,024人 ・応援券:1人あたり5,000円 ・取扱店舗:445店舗 ・利用期間:令和3年7月1日～11月30日(当初9月30日)	応援券の配布が消費喚起となり、市内取扱店舗での利用促進から地域経済回復の一助となった。  ・配布完了数 496,450枚 ・配布完了金額 248,225,000円 ・換金額 245,300,500円 ・換金率 98.8%	
5	補		教育支援体制整備事業費交付金	学校教育課	(幼稚園の感染症対策支援) ①幼児教育の質の向上のための緊急環境整備(新型コロナウイルス感染症対策) ②消耗品費(新型コロナウイルス感染症対策となる保健衛生用品) ③笠懸幼稚園	R3.4	R3.6	498,984	249,000	240,000	0		新型コロナウイルス感染症対策に係る支援事業として、消耗品を購入した。	笠懸幼稚園における感染症対策衛生用品を購入し、園内の感染症対策を行うことができた。 【内訳】 消耗品費(ハンドソープ等)498,984円 (財源) 教育支援体制整備事業費交付金 249,000円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 240,000円	

No.	補助・単独	事業の区分	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	A (単位：円)				成果目標 (No.10以降 設定)	成果実績	実施内容	事業成果
								総事業費 (R3実績額)	B 国庫補助 額	C 交付金充当 額	D その他				
6	単	事業者支援(①事業者支援)	安心地域協力事業者支援事業	商工課	①ワクチン接種の進展を踏まえた群馬県の経済対策を見据え、来訪者を受け入れる市内事業所の新型コロナウイルス感染症感染防止対策を強化し、今後の経済活動を加速させるため、これまで以上の感染防止対策を実行する事業者を支援するもの。 ② ●事業者への支援金 10万円×500件＝50,000千円 ●会計年度任用職員報酬(通勤手当含む) 362千円 ●消耗品費 22千円 ●通信運搬費 226千円 ③市内に事業所を有し、業種別ガイドラインに基づいた感染防止対策を適切に行っている事業者(群馬県ストップコロナ認定制度の認定取得事業者)で感染防止対策の改善、あるいは新たな対策を講じる事業者	R3.10	R4.3	54,338,877		44,846,000	0		来訪者を受け入れる市内事業所等の感染防止対策を強化し、今後の経済活動を加速させるために、これまで以上の感染防止対策を実行する事業者を対象に補助金を交付した。 ・実施期間 令和3年11月1日～令和4年2月28日 ・補助金額 100,000円/1事業所 ・交付要件 市内に事業所を有し、ストップコロナ！対策認定店の認定を受けている事業所	新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、各業界のガイドラインに即した感染対策を実施する市内事業所(店舗)が増加し、感染防止環境の向上に貢献した。 ・交付件数 538件 ・交付総額 53,800,000円 《ストップコロナ対策認定店の状況》 事業開始前(令和3年9月末)250件 事業終了時(令和4年2月末)605件 355件増	
7	単	事業者支援(①事業者支援)	交通事業者安心運行支援事業	商工課	①ワクチン接種の進展を踏まえた群馬県の経済対策を見据え、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けている交通機関を支援することで、本市来訪者の安心安全な交通環境を確保するとともに、感染症収束前においても、安定的な市民生活の確保を図る。 ② ●事業者への支援金(1事業者上限100万円) ①基本額(事業所の規模に応じた金額) 500千円×2事業者＝1,000千円 ②加算額(事業所の所有する車両台数に応じた金額) 760千円(内訳:500千円、260千円) ①+②＝1,760千円 ③一般乗用旅客自動車運送事業(※福祉輸送限定事業を除く)又は一般貸切旅客自動車運送事業の許可を受けて、市内に本社あるいは事業所を有する交通事業者	R3.10	R3.12	1,760,000		1,760,000	0		本市来訪者の安全安心な交通環境や市民生活に欠かせない交通機関の安定的な運行を確保するため、市内で運行する交通事業者へ補助金を交付した。 ・実施期間 令和3年11月1日～12月28日 ・補助限度額 上限1,000,000円 (基本額+加算額) ・交付要件 市内に本社又は営業所を設置する貸切バス事業者及びタクシー事業者で、令和2年の1年間の事業に係る売上金額が、前年又は前々年の1年間の売上金額と比較して100分の30以上減少している交通事業者	コロナ禍で苦境に直面している交通事業者に対して支援したことにより、来訪者の安全安心な交通環境や市民生活に欠かせない交通機関の安定的な運行に寄与した。 ・交付件数 2件 ・交付総額 1,760,000円	
8		(削除)													
9		(削除)													
10	補		学校保健特別対策事業費補助金	学校教育課	(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業) ①各学校が新型コロナウイルス感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学習保障をするための取組を実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する経費を補助する。 ② 市内小中学校12校の感染症対策消耗品及び備品(サーモグラフィカメラ) ③市内小中学校12校	R3.1	R4.2	3,756,249	1,709,000	1,850,000	0	市内小中学校でのクラスター発生件数:0件	0件	・新型コロナウイルス感染症対策に係る支援事業として、消耗品を購入した。 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市内小中学校にサーモグラフィカメラを購入した。 8校に各1台(笠小・笠北小・大北小・大南小・大東小・笠中・大中・大東中)	学校における感染症対策を徹底しながら、児童の学びの保障をする体制の整備を行うことができた。 また、登校時の検温測定を行い、新型コロナウイルス感染症の感染対策を行うことができた。 【内訳】 消耗品費(消毒液等) 1,529,849円(174点) サーモグラフィカメラ購入費(8台分) 2,226,400円  (財源内訳) 学校保健特別対策事業費国庫補助金 1,709,000円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,850,000円

No.	補助・単独	事業の区分	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	A (単位：円)				成果目標 (No.10以降設定)	成果実績	実施内容	事業成果
								総事業費 (R3実績額)	B 国庫補助額	C 交付金充当額	D その他				
11	補		公立学校情報機器整備費補助金	学校教育課	(GIGAスクールサポーター配置促進事業) ①GIGAスクール構想による急速なICT化を進める自治体等を支援するため、学校におけるICT環境の設計や使用マニュアル(ルール)の作成のほか、新型コロナウイルス感染症による臨時休業期間における、オンラインによる家庭学習の実施に関する支援等を行うICT環境整備等の知見を有する者の学校への配置経費を支援する。 ②人件費、旅費 ③市内小中学校12校	R3.4	R4.3	2,609,671	1,292,000	1,290,000	0	授業における端末活用時間：2時間以上	3時間	文部科学省の掲げる「GIGAスクール構想」の実現に向け、教育研究所にGIGAスクール支援員を配置し、市内小中学校のICT化に向けての支援を実施した。	文部科学省の掲げる「GIGAスクール構想」の実現に向け、GIGAスクール支援員を配置し、市内小中学校のICT化を推進することができた。  【内訳】 GIGAスクール支援員 人件費 (報酬、期末手当、社会保険料、通勤手当) 2,609,671円  (財源内訳) 公立学校情報機器整備費国庫補助金 1,292,000円 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 1,290,000円
12	補		疾病予防対策事業費等補助金	健康管理課	(健(検)診結果等の様式の標準化整備事業) ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大下において、健(検)診結果等の情報について、国が定める標準的な様式に対応できるようにシステム改修整備を行うもの。 ②委託料 ③—	R3.11	R4.3	1,650,000	585,000	400,000	0	システムトラブル発生件数：0件	0件	健(検)診結果の利活用に向けて、結果等を電子化した情報を転居時に市町村間で引き継ぐことができ、個人の情報が一元的に確認できる仕組みを構築する。	健康管理システムを改修し、情報連携できるよう整備することができた。  ・健(検)診結果等の様式の標準化整備事業 対応業務 業務委託料 1,650,000円
13	補		疾病予防対策事業費等補助金	健康管理課	(健(検)診情報連携システム整備事業) ①新型コロナウイルス感染症の感染拡大下において、個人がマイナポータルを通じて健(検)診情報を閲覧できるように必要なシステム改修整備を行うもの。 ②委託料 ③—	R3.11	R4.3	2,750,000	1,301,000	450,000	0	システムトラブル発生件数：0件	0件	健(検)診結果の利活用に向けて、結果等を電子化した情報を転居時に市町村間で引き継ぐことができ、個人の情報が一元的に確認できる仕組みを構築する。	健康管理システムを改修し、情報連携できるよう整備することができた。  ・健(検)診情報連携システム整備対応業務 業務委託料 2,750,000円
14	単	通常事業	公共施設分散勤務対応事業	財政課	①新型コロナウイルスの感染を防ぎ安定した市民サービスを継続するため、分散勤務地(廃校になった小学校を利用)の環境整備を行うもの。 ② ・ウォーターサーバー(ウォーターボトル代) ・ウォーターサーバー(サーバー借上料(メンテナンスを含む)) ・複合機搬入出委託 ・複合機レンタル料 ・複合機使用料 ③—	R3.8	R3.11	207,849		200,000	0	みどり市役所におけるクラスター発生件数：0件	0件	新型コロナウイルス感染症対策にかかる分散勤務先に必要な複合機等のレンタルを実施した。	新型コロナウイルスの感染を防ぎ安定した市民サービスを維持するため、職員の分散勤務地の環境整備を実施した。  ・複合機レンタル(2台) 169,235円 ・ウォーターサーバーレンタル(26本/12ヵ月) 38,614円 合計 207,849円
15	単	通常事業	飛沫防止パーテーション設置事業	財政課	①飛沫防止パーテーションを職員デスク間に設置し、職員の新型コロナウイルス感染防止を図る。 ② 1,780円×292台×1.1=571,736円 ③—	R3.8	R3.9	571,736		570,000	0	みどり市役所におけるクラスター発生件数：0件	0件	新型コロナウイルス感染症対策に必要な物品を購入した。 執務室内の飛まつ防止パーテーションを購入した。	感染症対策に必要な備品等を購入し、職員の新型コロナウイルス感染防止を図った。  ・飛まつ防止パーテーション(292台) 571,736円

No.	補助・単独	事業の区分	交付対象事業の名称	所管課	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業始期	事業終期	A (単位：円)				成果目標 (No.10以降設定)	成果実績	実施内容	事業成果
								総事業費 (R3実績額)	B 国庫補助額	C 交付金充当額	D その他				
16	単	通常事業	濃厚接触者生活物資支援事業	健康管理課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、濃厚接触者で自宅待機となった市民に対し、外出せずに生活できるよう食料品等の支援を行う。 ②食糧費、消耗品費 ③生活物資(食料品、衛生用品)1,500円×5日×300人=2,250,000円 ④市民	R3.8	R4.3	6,649,054		2,250,000	0	支援希望者(濃厚接触者)へ生活物資を配布完了できた割合:100%	100%	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、濃厚接触者で自宅待機となった市民に対し、外出せずに生活できるよう食料品等の支援を行った。 ・食料品等 7,500円(1,500円/日/人×5日分) ・紙おむつ・生理用品等	濃厚接触者となった市民が外出せずに安心して生活できるよう支援を行うことができた。 ①生活支援物資(食料品等) 884個 6,632,201円 ②紙おむつ・生理用品等の消耗品 25個 16,853円
17	単	通常事業	電子図書館事業	社会教育課	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大下において、在宅時の読書活動の推進及び「新しい生活様式」に則した環境整備のため、電子図書館の運営と蔵書の充実を図るもの。 ②サーバー借上げ料、電子図書購入費 ③—	R3.4	R4.3	2,020,255		2,020,000	0	電子図書館年間利用者数:16,000人	7,664人	感染症流行期等においても安心して図書館の利用ができるよう電子図書館を運営する。	来館不要で、24時間いつでも図書館が利用可能となることで、新たな学習ツールとしての生涯学習を推進することができた。 電子書籍数 4,981点 貸出数 3,932点 ○電子図書館事業:2,020,255円 13節 使用料及び賃貸料 サーバー借上料 660,000円 電子図書使用料 1,360,255円